

徳島市立V 県勢初女子

弓道

全国高校選抜大会

弓道の第34回全国高校選抜大会最終日は26日、

栃木県のフレックスアリーナ宇都宮で男女各16校による団体決勝トーナメントが行われた。女子の徳島市立(諸岡茉莉亜、幸七優、山口莉奈)は決

＜徳島関係決勝＞
【女子】団体決勝トーナメント1回戦(12射)
徳島市立 8-6 津田沼

▽2回戦
徳島市立 9-8 倉吉西
▽準決勝
徳島市立 8-7 春日部女子
▽決勝
徳島市立 8-7 丸亀城西

平常心貫き 競り勝つ

初の栄冠に徳島市立の選手は「うれしい」「夢のよう」と喜びを爆発させた。新チーム結成から5カ月。一戦一戦に集中して勝ちを積み上げ、全国の頂点に立った。

山口主将らが「最大のヤマ場だった」と振り返るのは2回戦の倉吉西戦(鳥取)。2014年のインターハイで優勝している強豪との対戦で、皆中を披露したのが1年生の幸。「頼もしい先輩が前後にいたので、安心して引くことができた」。大一番で抜群の勝負強さを発揮し、9-8で勝利をもぎとると、チームは完全に勢いに乗った。

前日まで行われた個人戦にも出場した諸岡は準決勝で敗退後、フォームを修正するために、宇都宮市内の弓道場で平野監督、山口主将と2時間ほど調整に励んだ。そのかいあって、準決勝と決勝は課題としていた「1射目を当てる」ことに成功し、大前の役割を果たした。

急成長を続けている。山口主将は「全国優勝は自信になった」と話しながらも「ここからがスタート」。あくなき向上心を胸に、さらなるレベルアップを誓っていた。

(藤田慶祐)
長野吉田は初優勝。
山口3中
(丸亀城西)磯野4中、岡本礼1中、岡本春2中
【男子】団体トーナメント決勝
長野吉田 10-7 日高
和歌山



【上】女子団体で優勝した徳島市立の予選の試技【下】徳島市立の優勝メンバー。(左から)山口、諸岡、幸、皆谷。いずれもフレックスアリーナ宇都宮(同校提供)